

2006年



▶市民・保護者と共同、公立保育園4園民営化を断念させる。

全園の保護者会長の連名で「公立保育園民営化反対」の意見書を提出するなど、市民・保護者・保育士の共同した運動で2006年4月からの4園民営化を断念させた。

▶市職労結成60周年記念行事

2月25日 千日前商店街で「ありがとう岡山松竹」開催

市職労結成60周年・「雄叫」発行1万号を記念行事として商店街や地元のみなさんといっしょに映画の上映会や商店街でのイベントを行った。

「岡山市職員労働組合結成60周年&『雄叫』1万号記念」としてドキュメンタリー映画連続上映会・監督講演会に取り組むとともに、10月15日に伊藤千尋さんを迎え記念講演会を開催した。

▶10月8日 市民病院の必要性訴え、「市民病院を考えるシンポジウム」開催

「市民病院あり方検討委員会」で必要性も含めて議論される中、地域の開業医などの参加も得てシンポジウムを開催、市民病院の必要性を改めて確認した。



▶06賃金確定交渉で「新しい昇給制度」の試行実施合意

がんばる誰もが数年に一度（特別）昇給する「新しい昇給制度」を08年1月1日から試行することを確認した。06確定闘争の中で、採用凍結(2007～09年)問題への取り組みとして「職場ギスギスアンケート」に取り組んだ。

できごと

- ・トリノオリンピック女子フィギュアで、「イナバウアー」の荒川静香選手が金メダル獲得。
- ・耐震基準を満たさないマンション等が建設・販売されていた「耐震強度構造計算書偽造事件」で、ヒューザー社長などを国会証人喚問。後に詐欺容疑で逮捕。
- ・福岡市職員が飲酒運転で子ども3人が死亡する事故を起こしてひき逃げし、隠蔽工作。飲酒運転への批判強まり、厳罰化が進む。
- ・自民党総裁選で安倍晋三氏が当選し、第一次安倍内閣が発足。「道徳心」「我が国と郷土を愛する」等を盛り込んだ教育基本法「改正」が野党の反対押し切り、成立。防衛庁の防衛省昇格法案も成立。

2007年

▶1月12日 臨時大会を開き、建部町職員組合と組織統一決定

岡山市と建部町の合併にともない、建部町職員組合との組織統一を決定した。

▶1月 ペンギン手帳発行

女性部は、子育てしながら安心して働き続けられる職場づくりに向けて「ペンギン手帳」（子育て関連の手当・休暇・休業等の権利手帳）を発行、全組合員に配布した。



▶市民のための政令市移行について市民的な議論に取り組む

政令市移行について、「市民の十分な議論による決定」と「市民のためになるよりよい政令市」を掲げ、初村尤而氏らをパネラーにした「政令市を考えるシンポジウム」（2月12日）を開催。また、「岡山市政の今日と明日」例会として「どうなる？ どうする！ ～岡山市の児童相談所～」(11月30日)を開催するなど、市民の期待に応えうる児童相談所を目指して議論した。

▶07 確定交渉で育児休業者に対する昇給抑制廃止勝ち取る

07 確定交渉の中で、育児休業者に対する昇給抑制を行わないこと、退職手当期間除算を廃止するなど、育児休業者の不利益について大幅な前進を勝ち取った。

できごと

- ・不二家がシュークリーム製造に「使用期限を超えた牛乳を使用していた」ことなどが内部告発で判明、隠蔽体質と批判浴びる。他社の食品偽装問題も相次ぎ発覚し、「偽」が今年の漢字に選ばれる。
- ・安倍首相が慰安婦問題で「強制性があった証拠、証言はなかった」と発言。河野談話の見直し議論強まる。憲法改正の手続き法となる「国民投票法」が自公の賛成で成立。
- ・第21回参議院選挙で民主党が躍進し、参議院第一党に。自民公明の連立与党は惨敗し、「ねじれ国会」状態になる。
- ・9月 安倍首相が健康上の問題等で突然の辞任表明し、福田内閣に交代。

2008年



▶政令市前夜、人員確保等を求め要求書提出や議会へ要請行動

市労連として「政令市移行に係る人員確保、採用凍結の解除等」について市議会各会派への要請や、支部要求書の提出などの取り組みを進めた。また、諸手当・休暇制度の国どおり改悪を迫る当局に対し、市民ビラ配布や早朝宣伝行動、決起集会や市議会各会派への要請や、総務省へも1502名分の抗議はがきをもって要請行動を行った。

▶学校給食の充実・委託拡大反対など訴えるパンフレット作成

学校給食民間委託拡大に対し、「岡山市の学校給食をみんなで良くする会」として、学校給食の充実・委託拡大反対を訴えるパンフレットを作成し、市民にひろく訴えた。

また、学校支部用務員部会は用務員実践集「学校用務員の力」を完成させ、教育委員、市議会文教委員、PTA会長などに配布し、用務員の仕事の役割や専門性を訴えた。

▶2月 ゴミ有料化に対する市民的な闘いを展開

2月議会に提案された家庭ゴミ有料化に対し、「市民本位の市政をつくる会」、県労おかやま、新日本婦人の会岡山支部の3団体と共同で学習会や宣伝活動、アンケートなどに取り組んだ。9月議会でも可決されたものの、「子育て家庭・障害者・高齢者」や「剪定枝・枯葉」への減免や資源化物の月2回収集などのサービスの拡充を実現させた。

▶「福祉交流プラザ嘱託職員の会」結成

5年有期雇用の撤廃などの切実な要求の実現を求めて嘱託職員が新たに市職労に加入し「福祉交流プラザ嘱託職員の会」を11月9日に結成した。



できごと

- ・インド洋での海上自衛隊の給油活動再開を可能にする「新テロ対策特別措置法案」が、「ねじれ国会」の参議院で否決され、衆議院の再可決で成立。
- ・神戸市灘区でゲリラ豪雨による異常増水のため、川遊びの児童らが死亡する水難事故。これ以降、各地で局部的豪雨による被害が頻発。
- ・福田内閣が総辞職。参議院は民主党小沢氏が指名されたが、憲法の規定で麻生自民党内閣が発足。
- ・岡山市職員のボクサー池山直選手、WIBA世界ミニマム級王座を奪取。祝勝会開催。
- ・リーマンショック、派遣切りで失業者続出。労組・NPOなど共同で日比谷公園に年越し派遣村開設。

2009年

▶区政スタートに伴って、各区役所を組織強化

4月から中、南、東の各区役所に書記局を設け、書記の配置を行った。中区役所では職場実態を話し合い、要求を持ち寄る取り組みを通じて5月14日に中区役所支部を結成。西大寺支部は、7月10日に東区役所支部へ名称変更し、東区役所支部として再出発する。9月3日には南区役所支部を結成。



▶ハラスメントに対する取り組み進む

2007年7月に起こった嘱託職員Aさんに対する強制わいせつ事件を契機に、女性部を中心として、「ハラスメント防止啓発・セクハラパワハラコースター」の全職員配布や、セクハラ学習会を開催。強制わいせつ事件は2010年10月の裁判でAさんの全面勝利。今後このような問題が起きない働きやすい職場をつくるために、「セクシャル・ハラスメント苦情処理委員会」を、外部の専門家や組合代表を入れるなど機能を強化した「ハラスメント等・防止対策委員会」へと改組させる。

▶「岡山市政への提言2009」発行

9月の岡山市長選挙を控え、市民団体の協力を得て「岡山市政への提言2009」を発行。

できごと

- ・4月1日 岡山市が全国18番目の政令指定都市に移行。岡山市にも2月1日に人事委員会が設置される。
- ・第45回総選挙で自民党・公明党は大敗、民主党が大勝し、政権交代。民主党の鳩山由紀夫氏が第93代内閣総理大臣となる「政権交代」が流行語大賞に。
- ・映画「おくりびと」が米アカデミー賞最優秀外国語映画賞に選ばれる。
- ・前原誠司国土交通大臣がハツ場ダム建設の中止、ダム建設事業の全面的見直しを表明。関係知事らの反発招き、ハツ場ダムは後に建設再開に転換。
- ・政府の行政刷新会議が、新年度予算の「事業仕分け」を開始。

2010年



▶「公民館の市長部局移管」問題への取り組み

6月に、教育委員会所管の公民館を、市長部局安全・安心ネットワーク推進室へ移管しようとする動きがおこり、シンポジウムの開催やパンフレットの発行、署名活動など市民と共に公民館充実運動を進め、移管は阻止したが、公民館職員は安全・安心ネットワーク推進室との併任辞令となる。

▶「学校図書館白書3」発行

学校支部図書館部会は、「とんとんとん」「リーフレット」につづき、20年ぶりに白書を発行。

▶第10回地方自治研究全国集会開催

10月16～17日、第10回地方自治研究全国集会が岡山で開催される。市民との共同を広げ、民主的自治体労働者論を学び深め実践する場として、各分科会で岡山市の取り組みなどを発信。



▶“職員削減計画”に対する取り組みすすむ

「3年間採用凍結」に続き、11月に出された正規職員を5年間で140人削減する「採用中期計画(素案)」に対し、市民サービス、職員の健康を守るために、独自ビラや街頭宣伝、地域配布を行い必要な人員確保の取り組みをすすめる。こうした中で、保育士15名の中途採用を実現させる。

できごと

- ・小惑星探査機「はやぶさ」がトラブルの末に地球に帰還。小惑星のサンプル回収に成功。
- ・「観測史上最も暑い夏」となり熱中症になる人が続出。今年の漢字は「暑」に。
- ・沖縄県名護市長選挙で新基地建設反対を掲げた稲嶺進氏が初当選。
- ・普天間基地移転先を「最低でも県外」としてきた鳩山政権の方針が迷走。名護市辺野古を移設先とする日米合意を閣議決定。社会民主党が政権離脱。
- ・鳩山内閣が総辞職。菅直人氏が民主党代表に選出され、第94代内閣総理大臣となる。
- ・第22回参院選で民主党が惨敗し、自民党が勝利。「ねじれ国会」となる。

2011年

▶東日本大震災被災地へ支援

市労連と市幹部の連名で義援金を呼びかけ、9,404,481円を支援。市職労宣伝カーも持ち込み、延べ17人、107日間のボランティア派遣を行った。



▶「脱原発」目指す取り組みスタート

県労会議を事務局団体として46団体が実行委員会を結成し、「9・11原発ゼロをめざす県民集会」を開催。「脱原発」実現に向けた継続的な取り組みを進める。

▶10月 臨時保育士支部結成

約300名の臨時保育士ほぼ全員から寄せられたアンケート結果を元にした要求実現のために、支部結成準備会を7月29日に立ち上げ、8月18日に要求書を提出。10月14日に結成総会を開催。



▶市民保険年金課派遣オペレーターを直接雇用

1981年から戸籍入力業務は派遣職員で行ってきたが、一般競争入札への変更に伴って雇用が確保されない下で、職員17名を任期付職員という形ではあるが4月から市の直接雇用とさせた。

できごと

- ・3月11日に東日本大震災が発生。東北、関東地方で津波等による甚大な被害。福島原発は深刻な原子力事故を起こし、放射性物質拡散、住民の長期避難等を招く。
- ・女子サッカーワールドカップで「なでしこジャパン」が世界一に。
- ・菅首相が浜岡原子力発電所の運転中止を要請し、中部電力が運転停止。
- ・東北3県を除き地上アナログ放送が停波し、地上デジタル放送に移行。
- ・菅首相が退陣。野田佳彦氏が民主党代表選で勝利し、第95代内閣総理大臣となる。
- ・台風12号、15号が連続して上陸し、各地に甚大な被害をもたらす。
- ・大阪市長、大阪府知事ダブル選挙で「大阪維新の会」の橋下徹氏、松井一郎氏が当選。

2012年



▶3月11日「3・11震災祈念のつどい」

震災1年を迎え、「3・11を忘れない 震災復興支援ボランティア・行政派遣職員の体験報告集」の発刊や「瓦REキーホルダー」販売、「3・11震災祈念のつどい」開催などで、東日本大震災の復興と、7月27日からスタートした原発ゼロを目指す取り組み「イレブンアクション」を継続。

▶市民サービス窓口均てん化問題を考える

9月議会で公民館を拠点とした市民サービス窓口を整理する「市民サービス窓口・拠点の再編について(素案)」が出されると同時に、吉備公民館と吉備地域センターの「合築」が検討されるもとで、「市民窓口サービス・公民館の充実を目指す情報交換会」を開催。社会教育と市民サービス双方の向上を目指すために市民向けパンフレットで訴えるなどし、公民館機能と窓口機能を完全に分離する「合築」とさせる。

▶市民のつどい、20回目を迎える

9月1・2日に、1992年から継続してきた「市民のつどい」の20回目を開催。直近10年間の概要は下表のとおり。

開催年	前夜祭 映画	記念講演講師	分科会
2006年	博士の愛した数式	香山 リカ	5分科会1 特別分科会
2007年	フラガール	内橋 克人	6分科会
2008年	夕風の街 桜の国	雨宮 処凛	6分科会
2010年	しあわせのかおり	伊藤 千尋	6分科会
2011年	書道ガールズ	森永 卓郎	5分科会1 特別分科会
2012年	がんばっぺ フラガール!	鎌田 實	5分科会
2013年	この空の花～長岡花火物語	鎌田 慧	5分科会
2014年	百年の時計	金子 勝	5分科会
2015年	みんなの学校	秋山 豊寛	5分科会
2016年	群青色の、とおり道	鳥越 俊太郎	4分科会

できごと

- ・第46回総選挙で民主党は大敗。自民党が単独で絶対安定多数を占める大勝をおさめ、政権に返り咲く。安倍自民党総裁が第96代内閣総理大臣となり、第二次安倍政権が発足。
- ・ロンドンオリンピックで日本人選手が過去最多のメダル獲得。日本各地での金環日食観測などもあり、今年の漢字は「金」に。
- ・東京都墨田区に高さ634mの東京スカイツリーが完成し、開業。
- ・米軍の垂直離着陸機オスプレイが岩国基地に到着。その後沖縄普天間基地に配備。
- ・香港活動家の尖閣諸島上陸事件が発生。日本政府、尖閣諸島の魚釣島等を買収し、国有化。

2013年

▶「怒りのレッドカード」で国どおりの賃金削減提案に NO

震災復興支援財源確保を理由に、国が公務員に対して押し付けてきた「平均7.5%の賃金カット」に対して最後まで「撤回」を迫り、闘った結果、削減期間を3ヶ月圧縮するとともに、削減率も平均5.3%とさせた。当局に削減提案は「地方自治を歪め、理不尽で道理のないもの」と認めさせる。



▶新・再任用制度確立

年金支給開始年齢が上げられる下で実施した「60歳以降の雇用問題アンケート」(6月)の結果を元に、雇用と年金の確実な接続を求めて交渉を続け、「短時間勤務」「月給20万円以上」の勤務条件を獲得。

▶市立病院独立行政法人移行の中で勤務条件改悪許さず

独立行政法人移行化の下で給料表の改悪など生涯賃金で約2000万円の減額が提案されていたが、粘り強い交渉で、勤務労働条件の改悪は一切許さず、新たな負担となる雇用保険料分の増額などを勝ち取る。

できごと

- 安倍内閣、安全保障情報を秘匿する「特定秘密保護法案」を批判押し切り強行採決。
- 2020年夏期オリンピックの東京開催が決定。「おもてなし」が流行語大賞に。
- 大阪市立桜宮高校で体罰自殺事件が発覚。これ以降、他校でも体罰問題が明らかに。
- NHKの朝ドラ「あまちゃん」放送開始。「じえじえじえ」が流行語に。
- 第23回参議院選挙で自民党が比例区第1党になる勝利。両院のねじれ状態が解消。
- 安倍総理大臣、現役総理としては7年ぶりとなる靖国神社参拝。
- 仲井眞沖縄県知事、米軍基地移転に向けた名護市辺野古沖の政府の埋め立て申請を承認。

2014年

▶育児休業代替の正規職員配置

「ペンギンキャンペーンふたたび」とした女性部のとりくみ、市労連要求書にあげ交渉を重ねた結果、12月に行われた市労連交渉において「ワークライフバランスに配慮した職場環境をつくる」として「各年度の職員採用計画で育児休業取得者数を考慮」し、「1年に20人程度、継続的（5年程度）に職員を採用する」との当局回答を引き出す。



▶非正規職員の待遇改善も含め7年ぶりに全職員の賃上げを実現

「給与制度の総合的見直し」押し付けの下で、全職員の賃上げを実現。

市人勸に触れられた「公民較差解消のための初任給改善」では「全職員の賃上げ」には至らないところだが、「地域手当改善」を実現させたことで、地域手当の支給対象である再任用職員や任期付職員「賃上げ」とさせることができた。

▶「交流の広場」新設など、市民のつどいをさらに充実

「つどい」の総括で出た意見を受け「市民のつどい在り方検討委員会」を設定し全体を見直したことで、“市民と共に”市政を考える機会が充実した。第4分科会が行った担当部局への「協働のまちづくり条件」見直しに関する提言に繋がる。

できごと

- ・4月1日、岡山市立病院が独立行政法人に移行。
- ・11月25日、東区役所 新築移転。
- ・理化学研究所の小保方晴子氏らが「STAP細胞作成に成功」と発表し、注目集めるが、後に「作成が確認できない」等と騒動に。理系女子（リケジョ）が流行語になる。
- ・消費税が5%から8%に増税となる。うち1%だった地方消費税は1.7%に。
- ・政府、集团的自衛権行使を認める憲法解釈の変更を閣議決定。
- ・広島市安佐北区、安佐南区で局地的豪雨。大規模な土石流で74人が死亡する災害に。
- ・ESD（持続可能な開発のための教育）に関するユネスコ世界会議、岡山県他で開催。
- ・安倍首相が消費税10%増税先送り掲げ衆議院を解散。第47回総選挙で自公与党が勝利。

2015年



▶2年連続の全職員賃上げ、両立支援制度改善

平均2%の賃下げとなる「給与制度の総合的見直し」押し付けの下で、全体の引き下げ率を1.6%にまで圧縮、現給保障期間を3年から5年へと延長するとともに、臨時保育士の日額を「時給1,000円以上」という長年の要求を実現。さらに、退職手当の算定において全育児休業期間を勤務期間から除算しないという成果を勝ち取り、「育児」に関わる諸制度の今後の改善に大きく弾みをつけるものとなった。



▶粘り強い取り組みを続け、技労職の採用再開

「言いたい!知りたい!西大寺」などで市民とつながり仕事を改善させる中で、10年ぶりの環境整備員3名、8年ぶりの給食調理員6名の正規採用を勝ち取る。

▶憲法公布70年の節目に、改めて憲法を考えた

憲法公布70年を前に「平和」について改めて考えていく取組として市民と共に議論を深める「平和のとりくみ実行委員会」を設置。全5回シリーズで「あなたも学びたくなる平和のつくり方入門」を開催。

▶2015年2月 自治体保育労働者の全国集会を成功させる

認定こども園化・民営化が急速に動こうとしている中、岡山市職労が中心となり自治体保育労働者の全国交流会を開催する。

▶組合員の福利厚生制度「えらべる倶楽部」導入

できごと

- ・振り込め詐欺など特殊詐欺の被害が増加。被害総額は過去最悪の375億円に。
- ・イスラム過激派ISILによる日本人拘束事件が発生。身代金等を要求し、2名を殺害。
- ・大阪都構想の是非問う住民投票で反対が多数に。橋下徹大阪市長は政治家引退を表明。
- ・日本年金機構、ウィルス入り電子メールが原因で個人情報125万件が流出したと発表。
- ・集団的自衛権行使容認する安全保障関連法（戦争法）が、反対世論の中で強行採決。
- ・ラグビー日本代表がワールドカップ初戦で、強豪南アフリカに歴史的勝利。
- ・翁長沖縄県知事、名護市辺野古の埋め立て承認取り消しを正式決定。